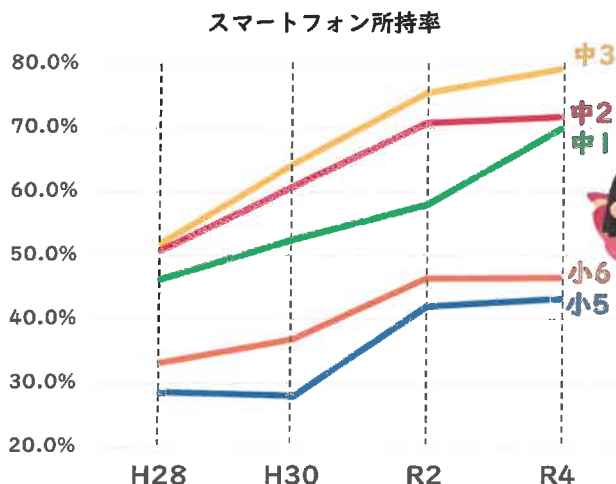


加古川市ケータイ・スマホアンケート調査結果より

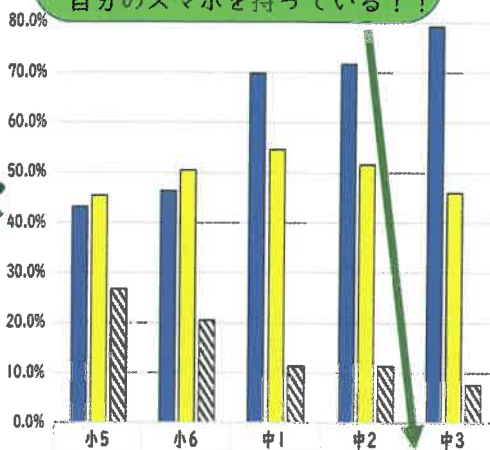
「令和4年度 加古川市ケータイ・スマホ等の利用に係るアンケート調査」
を、小学校5年生以上の児童生徒・保護者対象に実施しました。

令和4年12月発行
青少年育成課少年愛護センター

1 児童生徒の主なインターネット機器の所持率について（複数回答）



中学校3年生では8割弱が自分のスマホを持っている！！



	小5	小6	中1	中2	中3
スマートフォン	43.2%	46.5%	69.8%	71.7%	79.2%
携帯ゲーム機(Switchや3DSなど)	45.4%	50.5%	54.6%	51.7%	46.0%
ない	26.7%	20.5%	11.3%	11.3%	7.6%

小学校5年生では、入学までに約20%の児童がインターネット機器を使い始めています。インターネット機器を使い始める時期は、今後ますます「低年齢化」していくことが予想できます。子ども達がインターネット機器を使い始める時期に合わせた「家庭でのルール作り」が大切です。

インターネットの危険性から子どもを守るために！

家庭でのルール作りが大切です！！

でも起きたら

迷わず相談！

端末は子どもに「与える」ではなく「貸す」というスタンスで、パスワードは保護者が管理しましょう。

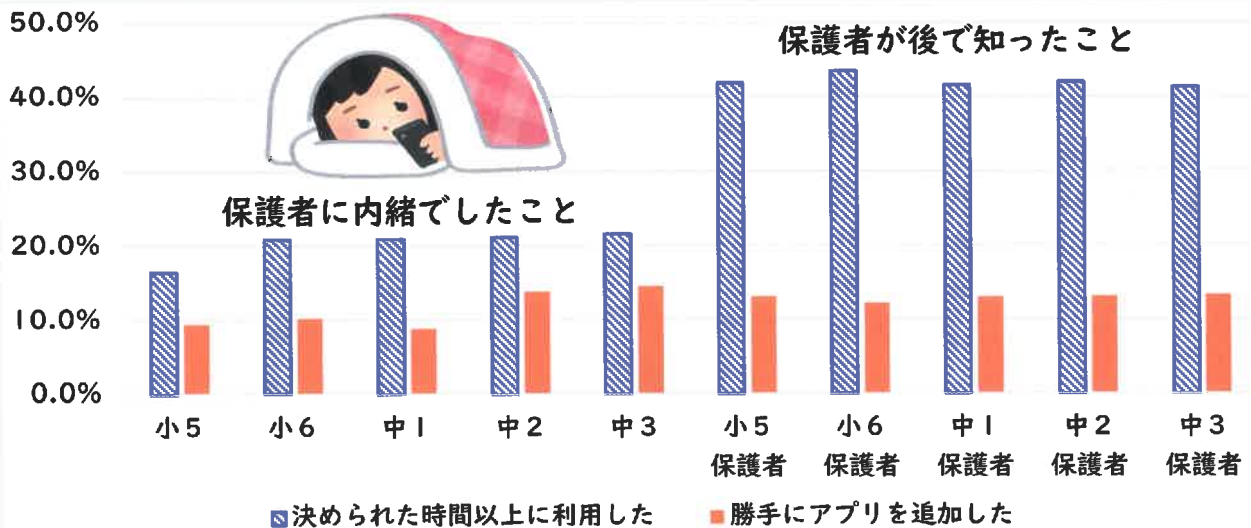
- ＜家族全員で守れるルールを親子で話しあって作ろう＞
- ・写真などインターネット上に載せる情報は親子で確認する
- ・時間を決めて、親子で過ごす空間で利用する（未使用時は共用場所に置いておく）
- ・ルールを守らなかった時のルールも作る など

【こんなことも・・・】

インターネットで「誹謗中傷した・された」はどの学年も3%程度います。また、それを見聞きしたことがある中学校3年生では、約10%います。また、インターネットで「無視した・された」も1～2%いることがわかりました。

インターネットで知り合った人と「出会ったことがある」と回答している児童生徒はどの学年にもいることがわかりました。その率は保護者の回答と比べると、児童生徒の回答の方が高いことから、保護者に内緒で知らない人と会っている可能性があります。見知らぬ人との出会いは、犯罪に巻き込まれる可能性もあり、大変危険です。

2 ネット依存傾向について



平日4時間以上、インターネットを小学校5・6年生が「学習で利用している」は5%、「学習以外で利用している」は10%で、中学校1年生はさらに増え、「学習で利用している」は8%、「学習以外で利用している」は14%でした。

「決められた時間以上に利用した」と回答した児童生徒の割合がとて高くなっています。長時間の利用は「やめたくてもやめられない」といった依存症になったり、「深夜の長時間利用」による「昼夜逆転」につながり、生活のリズムの乱れによる不登校の原因となったりすることも考えられます。また、視力の低下など身体的な影響もあると考えられています。



	小5	小6	中1	中2	中3
動画等視聴 (Youtube・AmazonPrimeVideoなど)	73.3%	82.8%	87.9%	91.2%	92.0%

保護者の方が興味を持たれている内容は、女子のお子様を持つ保護者の方は「性的被害に関する問題」の割合が高くなっていますが、全体では「ネット依存について」の割合が一番高くなっています。ネット依存については、



「思考や記憶、コミュニケーションに大事なはたらきを持つ前頭葉の『前頭前野』は0歳から5歳の間と思春期で大きく発達するが、インターネット利用が頻繁であれば、その発達が止まってしまう」

という研究結果もあるようです。

(『インターネットの脳への影響と「適切な付き合い方」』NHK健康CH 2022.7.15 より)

〈相談窓口〉

- ★お子様のインターネットに関する不安や困り事について
加古川市少年愛護センター (TEL: 079-423-3848)
- ★お子様のネット依存・ゲーム依存について
東播少年サポートセンター (TEL: 079-454-3364)
- ★ネット犯罪について
加古川警察署



〈インターネットトラブル資料〉
インターネットトラブル事例集
(2022年版)



令和4年度
加古川市ケータイ・スマホアンケート
調査の詳細について

